

熊本西環状道路の概要

熊本西環状道路は、熊本市南区砂原町（主要地方道 熊本港線）と熊本市北区下碓川町（国道3号 楠木バイパス）を結び、延長約12kmの都市計画道路です。

金峰山系の東側山麓部を通過する本路線は、6箇所のインターチェンジから出入りを行い、速度サービスレールを時速80km/hとする自動車専用道路です。

本路線は、熊本環状道路の一翼を形成し、都心部に集中する自動車の交通を適切かつ効率的に分散導入することにより、都市活動の活性化に寄与するとともに、熊本市西部地域の利便性向上を支える道路です。

平成29年3月に花園IC～下碓川IC間(4.1km)が開通(暫定2車線)し、令和7年10月に池上 熊本駅C～花園IC間(4.6km)が開通(暫定2車線)しました。

熊本西環状道路の役割と整備効果

都市内の交通混雑の緩和と都市環境の改善

■熊本市圏は、通勤や商用などの移動手段を自動車交通へ大きく依存しています。このため、都心部を中心に著しい交通渋滞、環境負荷の増大が生じています。

道路網の整備

●熊本西環状道路は、都心部を通過する交通を排除するバイパス機能と道路ネットワークの形成による交通分散機能を持ち、都市内の交通混雑や都市環境の改善に大きな効果が期待できます。

熊本市西部地域の生活利便性向上

■熊本市西部地域は、東部地域と比較して高速道路から遠く、丘陵地や河川が多いため十分な道路密度が確保されておらず、自動車交通の利便性の低い地域となっています。

道路密度の充実

●整備により、西部地域の自動車交通を取り巻く環境は飛躍的に改善し、行動圏の拡大など生活の利便性が向上します。

災害に強い道路ネットワークの形成

■H28熊本地震時、九州縦貫自動車道の一部区間が通行止となり、南北を結び国道3号などで大渋滞が発生しました。また、各所でも交通規制が敷かれ避難・救援活動、物流に大きな影響が生じました。

多重性の確保

●整備により、災害時の避難・救急活動支援や災害復旧時の交通混雑緩和など、被災により寸断された幹線道路の多重性（リダンダンシー）が確保され、災害に強い道路ネットワークが形成されます。

平成28年熊本地震で被災した熊本城再建へ

工事で掘り出された石を熊本城で積みなおしている石垣へ有効利用



有効利用



今までの経過

- 1993年12月 広域道路基本計画、マスタープラン策定
- 1994年12月 熊本環状道路(30km) 地域高規格道路計画(高規格指定)
- 1996年2月 「地域高規格熊本環状道路建設促進期成会」設立
- 1996年8月 熊本西環状線(砂原町～下碓川町)12km) 地域高規格道路調査区間指定
- 1998年12月 熊本西環状線(花園～下碓川町)4km) 地域高規格道路整備区間指定
- 1999年5月 熊本西環状線(砂原町～下碓川町)12km) 都市計画決定
- 2001年12月 熊本環状連絡道路(中九州横断道路(熊本北～下碓川)) 調査区間指定
- 2005年3月 熊本西環状線(池上町～花園IC)5km) 地域高規格道路整備区間指定
- 2006年2月 国道57号熊本東バイパス6車線化(熊本市東区新南～熊本市南区近見町間9.7km)
- 2008年3月 国道3号熊本北バイパス供用開始(熊本市東区新南～合志市須屋間5.8km)
- 2013年1月 熊本西環状線(砂原町～下碓川町)12km) 都市計画変更
- 2015年3月 国道3号熊本北バイパス全線供用開始(7.6km)(一部暫定2車線)
- 2017年3月 熊本西環状線(花園～下碓川町)4km)開通(暫定2車線)
- 2022年2月 国道3号熊本北バイパス(①)・楠木バイパス(②)供用開始(①4車線化:合志市須屋～熊本市北区四方町1.8km)(②暫定2車線:熊本市北区四方町～北区下碓川町0.9km)
- 2022年3月 熊本西環状線(砂原町～池上町)3km) 地域高規格道路整備区間指定
- 2025年4月 国道57号熊本環状連絡道路 新規事業化
- 2025年10月 熊本西環状線(池上町～花園)4.6km)開通(暫定2車線)

熊本環状道路の概要図



■問い合わせ先
熊本市 都市建設局 土木部 道路計画課
〒860-8601 熊本県熊本市中央区手取本町1-1
TEL 096-328-2484 FAX 096-352-8186
✉ douroukeikaku@city.kumamoto.lg.jp

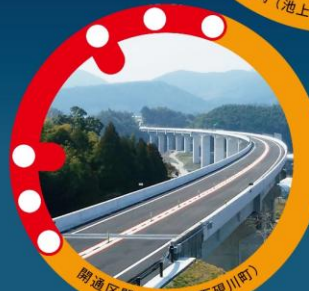
2025年10月作成

地域高規格道路 熊本環状道路 都市計画道路 熊本西環状線 (通称：熊本西環状道路)

祝 令和7年
10月19日
池上 熊本駅IC⇄花園IC
開通



開通区間 (池上町～花園) 谷尾崎高架橋



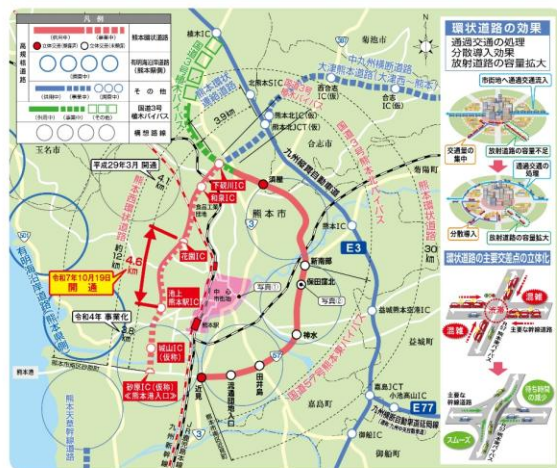
開通区間 (花園～下碓川町)



池上 熊本駅IC付近完成イメージ

熊本環状道路について

熊本環状道路は、熊本西環状道路、国道3号楠木バイパス、国道3号熊本北バイパス、国道57号熊本東バイパスから構成され、熊本市圏における交通ネットワークの中枢をなすものです。このうち熊本西環状道路は、熊本環状道路の西側を構成するルートで、これが完成すると大きな環状効果が期待されます。熊本環状道路は、慢性的な熊本市圏の交通渋滞対策として幹線道路に集中する交通の分散化を図り、さらには都市間交通の連携を促すネットワークとして、早急な整備促進が求められています。



環状道路の整備による効果

- 環状道路の内側の市街地で通過交通の減少
- 環状道路の内側の市街地内を通過する交通が減少します。
- 環状道路は、市街地に用いず通過交通を減少させ、交通渋滞の緩和に大きな効果を発揮します。



写真① 水道町交差点の交通状況



写真② 保田隆北交差点の交通状況

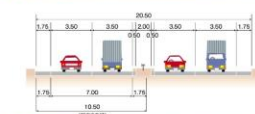
◆計画の概要

熊本西環状道路の計画諸元

路線名	都市計画道路 熊本西環状線 (一般国道 砂原北方寄線)
事業区間	自 熊本市南区砂原町 至 熊本市北区下硯川町
道路種別	自動車専用道路
道路規格	第1種第3級
車線数・幅員	4車線・3.5m/車線
設計速度	80km/h
延長	約12km
関連道路	池上インター線 (延長約1km) 花園インター線 (延長約2km)

◆標準横断面 (単位:m)

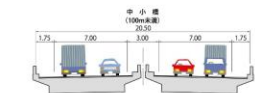
■一般部



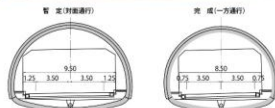
■橋梁部 (橋長100m以上)



■橋梁部 (橋長100m未満)



■トンネル部



◆熊本西環状道路概要図

